伊東里山クラブ　活動報告＆来期事業計画案

各事業この一年の活動を報告する活動報告（第１号議案）と次期事業計画（第２号議案）をあわせてご説明します。

■　森林及び里地里山の自然資源の活用と環境改善保持に関する事業

《大丸山の森づくり活動》

モミジの丘にモミジ、メグスリノキの植栽（2019/11/13）

伊東市宇佐美の大丸山における独自の森づくり活動《大丸山プロジェクト》は、初年度 2019 年分と 2020 年については 4 月から 5 月末までの活動を一区切りにしました。

ハイキングコース仲川の大石ルートでの道普請を進め、植栽活動は「モミジの丘」にイロハモミジ 12 本、メグスリノキ 1 本を植え付けたほか、会員鈴木伸一さんが日常的な活動でアセビ小苗 94 本植栽など大丸山の植物保育・道普請を行っていただいています。因みに、大丸山における植栽活動は 2008 年 10 月に始まり約 12 年間で 2049 本となりました。

大丸山の情報、魅力を発信する里山クラブホームページ（https://ito-satoyama.com）の大丸山特集ページは『大丸 YAMAP』のバナーに変更してひとまとめにしました。オリジナルのハイキングコースマップ公開が遅れていますが、道標新タイプ製作では目的地までの距離表示や略図を入れ込む手法をマップ制作の過程で会得しました。

久しぶりの大型台風で路が寸断されてしまい緊急工事（写真左・中）、案内看板更新で二か所に設置

里山クラブにとって活動の原点である大丸山については、昨年 11 月に静岡県景観賞の優秀賞を受賞しました。地元宇佐美の森を守る会が植栽樹保育、ハイキングコースの手入れを主体的に進め私たちＮＰＯが協力する森づくり活動が評価されたものです。

このほか昨年の台風被害で大丸山のハイキングコース一部に損壊があったのでその修復工事とイラストマップ仕立ての案内看板 2 基更新を伊東市より受託しました。

大丸山プロジェクト 2019/2020 の支出額　114,021 円
大丸山台風災害復旧工事の支出額　434,309 円
大丸山案内看板設置工事の支出額　101,884 円
大丸山草刈り作業の支出額　79,200 円

《次期事業計画は……》

引き続き、大丸山プロジェクトを中心に進めます。伊東市魅力あるまちづくり事業の補助金を活用して大丸山の要所に道標を追加していきます。ソフト面は大丸 YAMAP の内容充実を図るほか、新しい取り組みも考えます。

事業費は 50,000 円から 100,000 円を見込みます。

《中伊豆・貴僧坊 ECO ファーム事業》（ヤギ除草実験）

里地・里山資源の有効活用などを目指す貴僧坊ＥＣＯファームにおいて、ヤギの除草能力を活かす林間放牧構想を持つ山下隆理事.同ファーム長の活動を応援しました。

実験場（貴僧坊八田郎技研放牧場）に 8m×12m の広さのフェンスを設置して試しました。新たに考案したフェンスは強度、可搬性が良いことが分かりましたが、脱走防止の電気柵は高い電圧でヤギへの負担が心配のため中断しています。

ヤギ除草実験の支出額　64,384 円

《次期事業計画は……》

①新仕様フェンスでの放牧；里地の耕作放棄地への放牧（原保集会場近くの放棄地を交渉して放牧除草）、②森鮮組整備地への放牧；水神社横の小丸山に放牧、③電柵併用の研究継続、④動物取扱業の取得；除草レンタル事業に展開―を描いています。

里山クラブの支出は消耗品購入費用で 20,000 円程度の予定です。

■ 子どもの健全育成事業（伊東旭小『旭山』整備／防災教室開催）

旭小学校の学校林『旭山』整備を長く続けていますが、今期も 6 年生の授業で山道整備として丸太の防護柵を造ってそこに児童が思い思いのペイントを描きました。災害関連の授業ではポリ袋炊飯（イザめし！）調理体験と身近に迫る自然災害のお話をしました。

旭山整備、ポリ袋炊飯の支出額　49,393 円

《次期事業計画は……》

学校林「旭山」整備を 10 月下旬から 11 月上旬、12 月から翌年 1 月にかけて実施することを決めていますが、新型コロナウイルス感染の状況次第で見通せません。ポリ袋炊飯については保留にしています。

予算額は 50,000 円。

写真はポリ袋炊飯でイザめし調理体験体験（上）と旭山整備のもよう

□ 災害支援事業（台風災害千葉県内におけるボランティア活動）

2 年連続で軽トラ持ち込みの活動。余談ですが房総半島の整備道路は凄いね、陸上自衛隊基地の存在大

2019 年は 5 月下旬以降、梅雨前線の停滞や台風により全国各地で大雨、暴風、高波被害が続きました。9 月下旬、ひどい被害に遭った房総半島の南房総市と隣接する館山市に軽トラ持ち込みで瓦礫運搬などの災害ボラ活動に行きました。

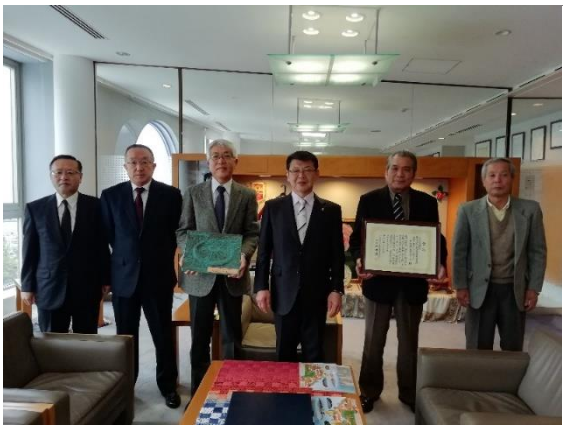
ボランティア募集やボラセン運営方法に戸惑いを感じました。思うように宿泊滞在が出来ず、途中から全国規模で独自に被災地支援活動を展開する「つながりプロジェクト」の活動に合流させてもらい、宿泊滞在も出来ました。

次の台風（19 号）の伊豆半島上陸が気がかりで早々にボラ活動を切り上げて帰宅。自宅の台風対策で点検してみれば屋根の傷みが激しく、それ以降は DIY リフォームに時間を費やしたため災害支援活動はこれ一回に終わりました。

自作炊き出しコンロ＋イザめし！のプロジェクトは、活動の広がりが望めず災害支援事業をうたうには違和感もあったため前述の「子どもの健全育成事業」に変更しました。

南房総市、館山市災害ボラ活動支出額　7,787 円

□ 普及啓発事業（「小さな親切」運動連携事業、県景観賞）



伊東市役所に小野市長を訪ね
景観賞受賞報告

大丸山の森づくり活動が静岡県景観賞「優秀賞」に

11 月 28 日、静岡市で開かれた静岡県景観賞最終審査会にノミネートされて優秀賞 2 点のうちの一つに宇佐美の大丸山における森づくり活動が選ばれました。

2004 年台風 22 号被害の翌年から宇佐美の森を守る会が立ち上がりハイキングコース復旧を手始めに地域の活動がスタートして、里山クラブはその一端を担いました。景観のすばらしさは言うまでもなく、それを支える人々の活動ぶりに関心を持ってもらえたもので、「ボラ活動を超えた地域貢献」という賛辞もいただく場面もありました。

今期、2019 年 6 月 8 日に「小さな親切」運動連携事業でスタートしたものの、コロナ自粛で空転

「小さな親切」運動連携事業は、このところ伊東市のごみゼロ運動に位置付けて宇佐美の亀石峠でごみ拾いとオオシマザクラ植栽地の下刈りを行っています。前期の活動日が雨で順延となり今期 2019 年 6 月 7 日にずれ込みました。

2020 年 5 月 30 日に予定していた活動は新型コロナウイルス感染対策のため「小さな親切」運動会員の参加が無くなり同日亀石峠の草刈りを行いました。

「小さな親切」運動連携事業、県景観賞の支出額 20,124 円

《次期事業計画は……》

「小さな親切」運動連携事業の上期事業を 7 月 4 日に実施することが決まりました。同下期事業の実施は今後関係者と協議します。

予算額は 50,000 円。

■ 管理部門の説明

支出に二つの「保険料」が記されていますが、64,521 円の労働保険（労災保険率 60/1000）は 2018 年分を 6 月 10 日に納付していて、収益事業切り離しに伴い 2019 年 1－3 月分については里山ワークスが精算しました。また、NPO の活動に掛ける保険は前年並みの 23,350 円です。

新規会員の減少、参加者の高齢化に〝コロナ自粛〟も輪をかけて活動に盛り上がりを欠き残念ですが、やまの新鮮な空気をたっぷり吸い込み気分転換を図りましょう。

《次期の取り組みは……》過去に活動手当（交通費、弁当代）の支給を行ったこともありました。改めて、**活動手当の支給を提案**します。

異議が無ければ、**今年 6 月から 1 年間の期間でクラブとしてスケジュール化する活動に会員が参加していただい時は 1 回／1 日につき 1,000 円。**1 年分を総会開催時にお渡しするものです